

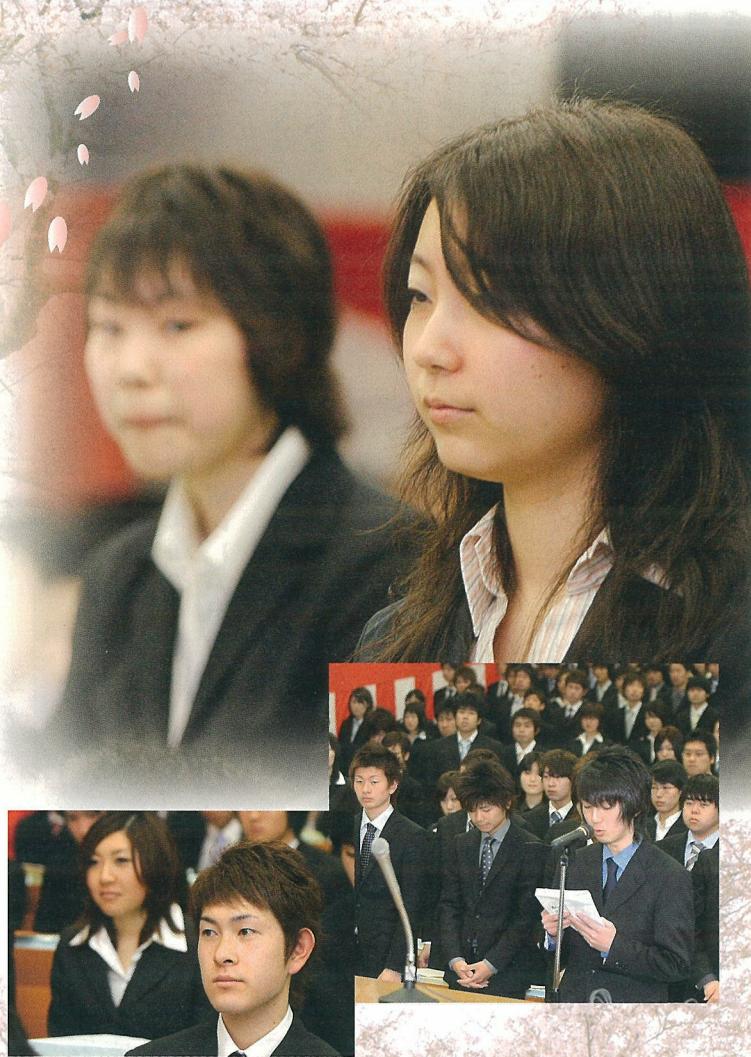
| 平成18年度入学生 おめでとう |

自らの価値観と責任を持って 学び楽しめキャンパスライフ

平成18年度の入学式が4月5日、本校大講義室で行われました。第13回の入学生は情報文化学科128人、情報システム学科191人の合わせて319人。希望に胸を膨らませ、みずき野キャンパスでの学生生活がスタートしました。

武藤輝一学長が「国際化・情報化の社会に役立つ語学・文化と情報技術の理論と実践を学び、自らの価値観と責任を持って有意義で、楽しい学生生活を謳歌してください」と祝辞を贈りました。また、在校生を代表して情報文化学科の齊藤巧一さんが「この大学には皆さんが期待している先進分野の研究、尊敬できる師と信頼しあえる友人との出会いのすべてがあります。明るく楽しいキャンパスライフを楽しんでください」と歓迎の言葉を述べました。

これに対して新入生を代表して情報システム学科の山田正彦さんは「積極的に学び自分の可能性を見出し、有意義な学生生活が送れるよう励みます」と力強く抱負を述べ、教職員、先輩から激励の拍手を受けました。

**CONTENTS**

2・3面

入学式特集
新入生の抱負
湧源（広報委員長）

4・5面

17年度就職情報一覧
学内合同企業説明会
トピックス・水俣シンポ
市岡教授追悼・さよならイッチャー

6・7面

今年度の新体制スタート
学部長など挨拶
委員長紹介・人事
新任教員紹介
退任教員挨拶

8面

進路ガイダンス・オープンキャンパス案内
平成19年度入試概要
9~12面
卒業式特集・スナップ
思い出ひと言・特別表彰

學長告辭

強い向学心を持ち
有意義な4年間に



新潟国際情報大学長

武藤輝一

もに、これとは別に英語、中国語、韓国語、ロシア語の4ヵ国語のうちのいずれか1ヵ国語を学び、一方、我が国の社会・文化と対比しつつ外国の社会・文化を学び、社会のため貢献しうる人物を育成することを目指しております。

世界中に広く構築された情報技術および情報システムの理論と実際を学び、同時に例えば、経営および地域情報システム、財務および管理会計、マルチメディア情報処理など、情報システムの社会での応用を学び、その知識と技術によって社会の発展に寄与しうる人物を育成することを目指しております。

新入生の皆さん ご入学おめでとう。このたびの入学は皆さん自身にとつてのびであることは申すまでもありませんが、日ご列席くださいましたご親族の皆さんも変お喜びのことと存じております。また多の元気溌剌として前途有為な皆さんを迎えることができます。我が大学にとりましても大

このたび、本学に入学された皆さん、情報文化学科128人、情報システム学科19人、合わせて319人であります。

本学の開学は比較的新しく平成6年の春で

ありました。しかし既に開学後満12年を経過し、本年3月までに2657名の卒業生が

社会へと巣立つて行き、大いに活躍中であります。本刊の理念は、我が國の社會、ア

作についての詰詰と理解を基礎に、情報化の社会の中で役立ち、能力があり、音

情報文化学科では実用英語を習得するとと

歓迎の言葉

師友達と
素晴らしい出会いを

在学生代表 情報文化学科

代表 情報

ご存知の通り 国内総生産も最近は上昇傾向にあり、太学卒業生の就職率も良好であり、大変うれしく思っております。大学におきましては、皆さんのが卒業後、それぞれに適した職業が選択できるようになると、2年次の後期から3年次の前期にかけてキャリア開発教育が、3年次の夏期休暇中にインターンシップが行なわれます。また3年次後期には就職希望調査が行われます。従つて平素自身をよく認識、分析し、自分の長所、短所を知つて、長

学の桜並木にもまさに花が咲くうとしています。若いたくさんの新入生の皆さんを迎えることができる喜びのあまり、たくさんの希望を申し上げることになつてしましました。皆さんが強い向学心をもつて勉学に勤しむとともに、学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持った社会人に成長されることをこれから期待し、皆さんを迎える言葉と致します。

て人類の共存・共生に貢献する」という教育理念のもと、学生は学問、部活動、サークル活動に積極的に参加し充実した大学生活を送っています。

皆さんは今日から大学生としての新たな生活を迎える、不安や緊張も多いかと思います。また期待に胸膨らませている方もいるでしょう。3年前の今日、私も今、皆さんが感じているさまざまの思い、気持ちを胸に思い浮かべながら着席していました。

所は伸ばすように、短所はなくするよう努力する一方で、この頃には卒業後どんな職業につきたいか、何をやりたいか大よそ決めておくことが必要です。もちろん大学院への進学もお勧めします。遠慮なく私ども教職員に相談してください。

皆さん自身の姿勢じだいで決まることを忘れないでください。

私は皆さんに大学生活のなかでぜひ三つのことを身に付けてほしいと思います。第1は先ほども述べましたが、自分自身で考えて物事を判断する能力を身に付けていただきたいということです。大学は社会という風の前にある一時の静けさのようなもので、大学生活中に自己判断能力を獲得することは、これらの方々にとって大きな糧となるでしょう。

第2は豊かな人間性を身につけてもらいたいということです。近年呼ばれているモラルの低下は人間性の欠如によるところが大きいのではないかと思う。常に他人を気遣い、思いやり、何事にも素直な人物になつてほしいと思います。

第3は自分自身を管理できるようになってもらいたいということです。大学は高校とは

違います。さまざまな面で自由に決められる事が多いです。自己管理をしっかりと勉強にいそしみ、気晴らしに友達と遊ぶ。これが大学生生活を充実したものにする一番の近道だと思います。

私の抱負

「知る」ことを積極的に学び
自分の可能性を見出す



新入生代表 情報システム学科

山田 雅彦

最後になりましたが、今日皆さんが本学に入学されたことを心から祝い、これから学校生活が皆さんにとって充実したものになることを願って歓迎の言葉とさせていただきます。

はないでしょうか。

これまでには、授業は与えられたものでした。が、これからは自らが積極的に学び、また課外活動やサークルにも参加し、学外においても社会人としてのルールやモラル、そしてマナーを身につけるなど、本学での4年間において有意義な学生生活が送れるよう、しっかりと励んでいきたいと思います。

最後に、本学で学んでいくにあたり、本学の特徴である充実した設備、また少人数教育という環境において、経験豊かな情熱あふれる先生方からのお指導をいただき、自分のあらゆる可能性を見出し、これから社会に貢献できるよう惜しまず努力することを誓い、私の入学の抱負とさせていただきます。

(紙面の都合により一部省略しました)

祝電

- 新潟県知事 泉田 裕彦
- 新潟市長 篠田 昭
- 新潟商工会議所会頭 上原 明
- 日本私立大学協会会長 大沼 淳
- 上越教育大学学長 渡邊 隆
- 長岡技術科学大学学長 小島 阳一郎
- 長岡大学学長 原 阳一郎
- 長岡造形大学学長 鎌田 豊成
- 新潟工科大学学長 布村 成具
- 新潟産業大学学長 吉田 邦夫
- 慶應大学校国際教育院院長 金 重慶
- ノースウエスト・ミズーリ州立大学学長 デイビッド・ハーバード
- 株式会社リクルート代表取締役社長 柏木 齊

春の憂鬱

広報委員長 越智 敏夫

YUUGEN
編集後記に代えて



日本は、日中関係の悪化や、北朝鮮による拉致問題、BSE問題など、世界の国々との間で抱える多くの問題をなかなか解決できずにいます。そのような状況を打破するためには、互いに相手の国を尊重し、そして「知ること」が必要なのではないでしょうか。

また国内では、IT企業による不正取引事件、建築業者などによる耐震偽装問題、さまざまな交通機関で起こる不祥事や事故、増え続ける子供を狙った凶悪な犯罪、そして、とじまるなどを知らない個人情報の流出などが毎日のようにニュースで流れ、今も問題となっています。これらを防ぐためには、情報をただ知るだけでなく、正しい情報を正しく収集し、正しく運用できる力が求められるので

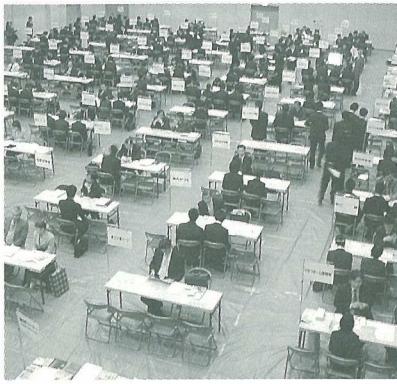
入学や転勤など、この時期は生活の中にも変化が多い。そのせいか、なんとなく憂鬱である。「春は旅立ちの季節。新しいことにチャレンジすることは良いことだ。すばらしい」と言つ人もいるかもしれません。しかしそれは嘘だ。今日と同じ明日が来たほうが、未知の明日より安心できる。だからこの季節に不安になるのは当然である。そして人々は変化を避け、退屈な「日常」を生きていく。

このように日常をつまらないものだと否定的に語るようになつたのはいつからなのだろう。マックス・ヴェーバーが言うように「聖と俗」の二分法が生活から消え社会の「合理化」が進んだときからかもしれない。ではその日常に鬱々とするのは個人の責任なのか。革命家やロック・ミュージシャンになれば、私たちはこの退屈さから逃れられるのか。これも嘘である。60年代末、学園闘争のバリケードの中、学生たちは「少年マガジン」を読みふけり、トランプ遊びで退屈さをしのいでいた。大金持ちのロッキンホールにも退屈な日常はある。巨大なりムジンも毎日乗っていては飽きるに決まっている。

しかし革命の日常化について考えるところから新たな政治（それが良いものかどうかはさておき）を構想したのは毛沢東だつたし、スターの退屈な日常の恐怖を歌つたデビッド・ボウイの音楽は私たちの精神を振り動かす。変化が嫌だからといつても私たちはいつまでも幼稚園の砂場で遊んでいるわけにはいかない。退屈であれば、その退屈さそのものをラジカルに考えることで、この不安と対するしかない。面倒な作業だけれど、これも

就職活動レポート

学内合同企業説明会



ずらりとならんだ企業コーナーで真剣に情報収集



毎年2月に開催する「学内合同企業説明会」。今年は14日(火)15日(水)の2日間にわたり本学体育館を会場に実施されました。学生たちは、自分の興味ある企業のコーナーに積極的に足を運び、真剣に情報収集を行っていました。

今年も比較的天候に恵まれ、2日間で昨年を上回る県内外企業166社の人事担当者が出席。会場は学生の熱気に包まれていました。

平成17年度卒業生 主な就職先一覧

アークペルグループ	鶴木(株)	株原信
アークランドサカモト(株)	東光商事(株)	はるやま商事(株)
アイエスピー・ブレインズ(株)	東テク(株)	萬代電業(株)
(株)有沢製作所	(株)東北ロイヤルパークホテル	株BSNアインネット
(株)アルファブライト	東洋熟工業(株)	東日本旅客鉄道(株)
(株)伊藤園	東和薬品(株)	(株)ピット・エイ
(株)ウイング	(株)トップカルチャー	株ひらせいホームセンター
(株)ウォロク	トヨタカローラ新潟(株)	(株)フヰ農園
(株)エイジェック	株NalTO	富士運輸(株)
HLS(株)	長岡信用金庫	(株)藤田製作所
(株)SFCG	(株)新潟アコール(式萬圓堂 上越店)	株富士通新潟システムズ
越後さんとう農業協同組合	新潟運輸(株)	(株)PLANT
越後中央農業協同組合	(株)新潟オービックシステムエンジニアリング	フランドル(株)
(株)N.S.コンピュータサービス	(株)新潟クボタ	(株)プレスマディア
NDSシステム(株)	(株)新潟グランドホテル	防衛庁 自衛隊
(株)エヌ・ティ・エス	新潟県警察	(株)北越銀行
エヌ・ユー情報サービス(株)	(株)新潟県厚生事業協同公社	北星産業(株)
(株)エフピーエム	新潟県信用組合	(株)ホテル新潟
(株)エム・アイ・ディ・ジャパン	新潟県総合生活協同組合	(株)堀川
遠藤商事(株)	(株)新潟県農協電算センター	(株)ホンダ産業
大島農機(株)	新潟綜合警備保障(株)	(株)本間組
(株)岡藤商事	(株)新潟ダイハツモータース	(株)マリイ
(株)川内自動車	(株)新潟タキザワ	丸三証券(株)
蒲原ガス(株)	新潟中央青果(株)	丸新産業(株)
(株)キタカタ	(医)仁愛会 新潟中央病院	(株)マルス
(株)キタック	新潟トヨタ自動車(株)	マルソー(株)
北日本物産(株)	(株)新潟トヨベット	(株)マルハン
キヤノンシステムアンドサポート(株)	新潟日報販売(株)	丸福証券(株)
協栄信用組合	(株)新潟藤田組	源川医科器械(株)
(株)桐井製作所	新潟リコー(株)	モトーレンニイガタ(株)
銀座美容商會	西川運輸興業(株)	山形酸素(株)
(株)クラフト	(株)日佑電子	(株)吉運堂
(株)幸楽苑	日産プリンス新潟販売(株)	(株)ヨドバシカメラ
コクヨ北陸新潟販売(株)	日精サービス(株)	(株)リオン・ドールコーポレーション
(株)コメリ	日通商事(株)	(株)リヨーイン
(株)コロナ	日本通運(株)	(株)リンクコーポレーション
サークルK 新潟嘉瀬店	日本郵政公社	(株)レオパレス21
サイバーコム(株)	NOVAグループ	
財務省 関東財務局(国家Ⅱ種)	(株)ハードオフコーポレーション	
(株)佐文工業所	(株)パソナテック	

景気動向はようやく上昇傾向となつてきましたが、大学卒業予定者の採用基準の厳しさは容易には変わりません。就職指導委員会は万全の体制で学生を支援して参ります。



種別	取得した資格	人数
I 種	中国語(中国語検定試験)準2級	1名
	ソフトウェア開発技術者(旧1種)	1名
II 種	基本情報技術者(旧2種)	7名
	初級システムアドミニストレータ	18名
	中国語検定 3級	14名
	日商簿記 2級	4名
	CG検定 2級	1名
	TOEIC 600点	3名
	HSK(国際的に公認されている漢語水準試験)5~6級	1名
	インターネット検定シングルスター	3名
	秘書技能検定 2級	14名
	建設業経理事務士 2級	6名
	ファイナンシャルプランナー 3級	2名

在学中にさまざまな資格試験に挑戦しようという学生たちを、本学では積極的にバックアップしています。資格取得や認定試験などの情報提供はもちろん、大学が指定した各種資格試験に合格した学生に奨学金が給付されます。その奨学金の授与式が、1月13日(金)に行われ、本年度はI種2名、II種73名、計75名の学生に対して、武藤学長より奨学金が渡されました。資格を取得できた皆さん、おめでとうございました! 他の皆さんも今日から、がんばりましょう!!

資格取得奨学金授与式

若い視点で新潟水俣病の教訓を学ぶ

「21世紀のミナマタ
—共に生きる新潟のために—」

主催者・アムネスティ・NU-1S

および新潟国際情報大学有志

代表・情報文化学科・佐藤李輔

(05年度卒業

場所・新潟国際情報大学新潟中央
キャンパス(2月25日)

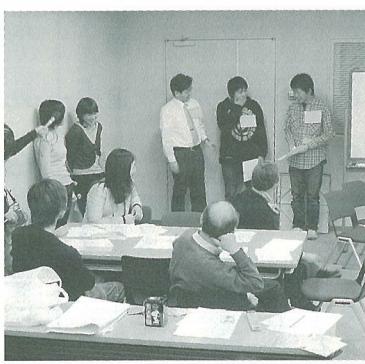
TOPICS

新潟水俣病は昨年、公式認定から40年を迎えました。これを機に新潟市を中心多くのイベントが開催されました。私は現地調査などに参加し、初めて水俣病に内包される複雑な対立関係や、差別、不平等の実態に触れたのです。

それは大きな衝撃でした。とりわけ、水俣病の患者さんが暮らす地域では、今もまだ偏見や差別が続いているといふお話を、私の中にあった「水俣病はすでに終わった事件である」という認識を、完全に覆してしまいました。

こうした経験から、私は大学の仲間たちと、新潟水俣病を再考するプロジェクトを立ち上げました。シンポジウム「21世紀のミナマタと共に生きる新潟のために」は、その第1回目のイベントです。参加者が患者や役人などになつてソーシャルドラマを演じ、被害者の対話を通じ実態を再認識しました。

それを終えた今、数々の反省点が浮かんできますが、その中でもやはり、身近な問題を考えることは重要であるということを再認識しています。来年度はこの経験を元に、さらに活動を続けて行きたいと思います。(佐藤)



エクトを立ち上げました。シンポジウム「21世紀のミナマタと共に生きる新潟のために」は、その第1回目のイベントです。参加者が患者や役人などになつてソーシャルドラマを演じ、被害者の対話を通じ実態を再認識しました。

それを終えた今、数々の反省点が浮かんできますが、その中でもやはり、身近な問題を考えることは重要であるということを再認識しています。来年度はこの経験を元に、さらに活動を続けて行きたいと思います。(佐藤)

恒例の新入生宿研修が4月7日から3日間、赤塚のウエルサンビア新潟で行われました。両学科のガイダンスや大学生活の規律を理解し、教職員や学友会との懇談やレクリエーションで親睦を深めて、早速、勉学とサークル活動に取り組んでいます。



先生の言葉が温かかった。その後の残り数日間は楽しかった。本当に楽しかった。

そしてありがたいことに翌年の来日時にも、再び声をかけていただいた。

すべての経験が社会へ旅立つ前の私にとって、ほんの少しの自信と勇気へと変わった。

私の露和辞典の表紙裏には、市岡先生のサインとともにロシア詩の一節が書かれている。直訳は「いつもあなたのはばで、太陽が輝いていますようになります」。

いつからか、私にとつて魔法の呪文となつた。

先日、お別れの夜にみんなが同じことを口にした。

「思い出す先生の顔ってさ、全部笑顔だよね」

他にもつと怒りたいこ

ともたくさんあつたであ

ろう先生にとっては、あ

まりにも都合の良すぎる

教え子たちであることを

大変申し訳なく思っている。

でも、私たちには笑顔し

か浮かんでこない。私たち

は先生の、あの太陽み

たいな笑顔だけを覚えて

いる。そしてそれはこの先もずっとずっと変わらない。

初日は帰宅後に号泣、

2日目の朝には逃亡計画を企てた。惨めで情けなかつた。

「なあに、言葉は单なる手段。与えられたチャンスを楽しんできなさい」

市岡政夫前情報文化部長が死去

アーヴィング・マーフィー
文学部ロシア語学科を卒業後、1963年に新潟市役所に入庁。70~71年には三菱商事嘱託としてアルメニアに駐在。92年に



卒業生に囲まれて(昨年3月の卒業記念祝賀会で)

ロシアなど 対岸と交流

前情報文化部長の市岡政夫教授が3月30日、心不全のため新潟市民病院で死去されました。66歳。

末、体調を崩され入院治療中でした。突然の訃報でした。東京都出身。昨年

94年に同市を退職し、

太陽みたいな“イツチー”の笑顔

第一期卒業生 黒山 貴子

総合大学準教授、環日本海経済研究所所長なども歴任されました。

ウラジオストクで出会った友人のつてで、来日するロシア人団体に一週間随行して通訳をやらなければと声をかけられた。市岡研究室に駆け込むと、先生は直前までこと細かに相談にのつてくださいました。

お決まりの挨拶、観光案内、人と人との間に立つ際の自分の立場。でもどんなに準備をしたところで、私は同時に通訳ができるはずもなかつた。

“イツチー”こと市岡先生へ。

最後はお別れの言葉ではなく、心からの感謝を込めて。

「ありがとうございました」

本学の教授に迎えられました。2004年に学部長就任。ロシア国立極東

30年にわたって同市が独自に取り組んできたロシア極東などの対岸交流を進め、自治体外交の草分けを担つてきました。

94年に同市を退職し、失礼ながらたいていの先生には、学生の間で密かに呼ばれる愛称があつた。

ただ、すべての学生から同じ愛称で呼ばれていたのは市岡先生だけだったかもしれない。

それがご本人の耳に届いた時のこと。

「余談ですが、同じ発音のロシア語には、行く、歩む、事が運ぶ。そんな意味があるんですよ」

先生には、学生の間で密かに呼ばれる愛称があつた。

ただ、すべての学生から同じ愛称で呼ばれていたのは市岡先生だけだったかもしれない。

そう言つて先生は笑つてくださいました。

3年生の夏、単身でロシアに行ってみようとしたのも、豪快な笑い声

に背中を押していただきたい時のこと。

泣きたいくらい大変なことがたくさんあつた。帰

國報告の後、やはり先生は大きな声で笑われた。

苦い思い出も、すべてが笑い話へ変わった。

初日は帰宅後に号泣、

2日目の朝には逃亡計画を企てた。惨めで情けなかつた。

「なあに、言葉は单なる手段。与えられたチャンスを楽しんできなさい」

5

花開き実り多き「みずき野」に

學長 武藤 輝

全教科・ゼミの新展開を期待

開学してから満12年が過ぎ、みずき野校舎前の構内道路上に並ぶ桜並木も成長し、見事な花を咲かせるようになりました。

今春も319人の元気溌剌とした新入生を迎え、一段と活気に満ちあふれています。しばらく低迷していた日本経済もようやく上昇傾向にあり、本年3月の卒業生の就職率も90%を十分に超えました。これで合計2657名のお卒業生が社会へと躍立ち活躍中であります。たくさんの就職先企業などからお褒めの言葉を頂戴することが多く、これもうれしいことになりました。

新年度の新しい学内の体制がス

2人の教員が他大学に赴任され、新しい3人の教員をお迎えしました。学部・学科長はじめ皆さんの抱負をうかがい全教科・ゼミの新展開が期待されます。

学生諸君には、ます何事も自分自身で考え、自分の意志に基づいて発言し、行動するという自主性、自律性を備え、自らの言動について責任を持つ習慣をつけるよう常々お話ししています。2年次から3年次にかけて行われるキャリア開発教育の第一

歩は、自分自身を十分に認識、理解することから始まります。自分でどのような生き方をしようとするのか、どのような職業を選択するのか、考え覚悟しなければなりません。もちろん長い人生ですから時に考えの変わることもあります。しかしその時々に、それまでの道を振り返り、そらに進むべき道を決め実行して行くのですから、後日悔いることはないでしょう。

人間誰も人生の終わりには大なり小なり悔いが残るもので、しょうが、生きているこの一日一日を大切に過ごそうではありますか。新年度の大学の諸活動が、それぞれに実り多きものとなりますよう祈念致しております。

教育の質を高め
人材を育成

 少子化の時代をを迎え、生き残りをかけて大学ではさまざまな改革が進められています。これらの改革の大半は、少子化時代でなくとも本来やるべきことであります。やはり黒船到来のように時間的に待ったなしの状況になつてようやく進み始めた感がになります。

そのためには学生個々人に基礎的な知識を蓄積させ、能動的な行動意欲を充実させる必要があります。【授業】はその手段であり、限られた時間内に効果的に用いなければなりません。教育の質を高めるため、今まで自らの教育認定機構による外部評価を

受審する予定です。さらに、来年度は情報文化学部として外部評価機関による第三者評価を受審すべく準備を進めてまいります。

さまざまな評価を通して、学部学科のカリキュラムを見直すとともに、個々の授業科目に関しても継続して改善してまいりますが、本学が育成する人材が本当に社会ニーズに適合しているのかどうかについては、大学の外部に位置する卒業生や関係する組織体、企業の方々の評価が最も有益な評価であると考えます。さまざまな場面において本学に対する忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

情報を有効に使うため勉学

情報システム学科長
高木 義和 教授

大学が1994年に開学して13年目に
なりますが、この間ににおける情報技術の
進歩や情報をとりまく環境の変化は非常
に激しいものでした。Windows環境の世
界標準化、ADSLによるインターネット
環境の充実、携帯からのインターネット
利用などが代表的なものです。

高校に「情報
科目が導入されて初めての卒業生が今年大學
から4年間と私たち教員がみなさんを待っています。

アクティブな 学園生活を

20年ぶりの大雪も終わり、草木が一斉に芽生える春となりました。雪が解けた後退すると、その後から次々と新しい命がわき出します。今年入学された皆さん、それぞれ進級された皆さん、気持ちも新たに新しい年度を迎えていることになります。

学生部では、大学生活にかかる
ことのうち、学習指導・就職以外の
ほぼ全般にわたることを取り扱つて
います。具体的には学友会・課外活動・
紅葉祭・通学・奨学金やアルバイト
などです。何か心配なこと不安なこ
とがありましたら、学生部の先生や
学生係に声をかけてください。いろ
どと思います。

いろいろなアドバイスができると思います。また、学生も社会の一員であり、自由もありますが、義務も生じます。基本的なマナーを守つてお互いに気持ちのよい学生生活を送つてください。

現在は医療が発達し、どの年齢も「死」率はあまり変わりません。しかし、昭和30年以前は、20歳がもつとも死亡確率が少なく、皆さんの年齢が人生で最も充実した時期であることが分かります。貴重な時間であることを意識して、ぜひアクティブラーニングで印象に残る学生生活を送つてください。

情報を有効に使うために勉学

情報システム学科長

A black and white portrait of Dr. James C. Gammie, a man with glasses and short hair.

A black and white portrait of a middle-aged man with glasses and a white shirt, looking slightly to the left.

ト利用などが代表的なものです。高校に「情報」科目が導入されて初めての卒業生が今年大学に入学することになります。そのため情報システム学科では從来以上に習熟度に違いが出ることを想定して、1年から情報処理演習を複数のコースから習熟度に合わせ自由に選択できるようしました。しかし今年度実施した推薦入学生に対する入学前演習の結果を見ると、情報の学習レベルに大きな変化はないようでした。

情報やパソコンという言葉が身近になつてはいますが、情報に関する基本的な理解の程度はこの13年間で思ったほど変化はないのかもしれません。情報システム学科はコンピュータを使いこなすことを目的としている学科ではありません。コンピュータを使って人間の情報行動を支える有用な情報システムを作つたり、情報システムを使って経営などに情報を生かしたりすることを学ぶことが目的の学科です。パソコンそのものだけではなく、情報を有効に使つたために情報システムについて4年間勉学に取り組むことにしましょう。

「自学自習」の力を付けよう

情報文化学科長

A black and white portrait of a man with short, dark hair and glasses, smiling.

入学のこのとき、「これから4年間遊べるぞ」と思っている方がもしいたら、水を差すようですが、ちょっと厳しいことを申し上げておきます。



「知識は、われが天に飛翔する翼である」とシェークスピアが述べたように、知識は人類の持つ優れた精神性によつて経験や実験の中から得られ人に計り知れない力をもたらすものである。長い歴史経験の中で無数の人々が取得した知識は書籍に収められていて、有限な経験しか持たない一人ひとりの私たちは書籍から豊富な精神的栄養を吸収することができる。

1921年ノーベル文学賞を受賞

れる要はない。ただ本を読んで深く尋ねる研究心の強い人こそ後生畏るべきものである」と子供たちに教える。読書の価値への共感は西洋でもアジアでも同様である。大学において、授業を通じて知識を学ぶのは重要であるが、自主的に読書をするのも、まさに知性を培う大学生らしい勉強のあり方である。

平成18-19年度委員長一覧

・学生部長	近藤 進
・情報センター長 (兼)図書セクター長	区 建英
・情報セクター 教育研究セクター長	樋口 光明
・学習指導委員長	澤口 晋一
・国際交流委員長	臼井陽一郎
・就職指導委員長	岸野 清孝
・セクシアルハラスメント 対策委員長	近藤 進
・広報委員長	越智 敏夫
・入試実施委員長	山口 直人
・人事委員会委員長	小澤 治子
・紀要編集委員長	竹並 輝之

教員の昇格人事

平成18年4月1日付
教授(情報文化学科)
越智敏夫、申銀珠

新任教員紹介

吉澤 文寿



情報文化学科
助教授

担当学科

韓国語
日韓朝関係論
韓国朝鮮史概説
アジアと日本

専門分野

朝鮮現代史、日朝関係史。主に外交における植民地(支配)責任問題の展開について考査。また、在日朝鮮人の歴史や、現在の分析体制下の朝鮮における植民地主義についても研究。今後、他の国における植民地主義及び植民地(支配)責任をめぐる諸問題についても考察。

吉田 博



情報システム学科
助教授

担当学科

マーケティング
商品企画

専門分野

①地域・地場産業の振興と
産官学の連携(地域ブランド戦略、製品企画・情報
発信・販売の展開)
②非常利組織(行政、福祉、
NPO等)のマーケティング
③起業・ベンチャービジネス

Howard Gordon Brown



CEPインストラクター
CEP

専門分野

1.Content Teaching
2.Extensive Reading
3.SelfAccess and Learner
Autonomy

2000年3月～2002年2月 韓国湖南大学外国語学部日本語科
専任講師
2002年10月～2006年3月 東京学芸大学・青山学院大学・関東学院大学・大東文化大学・明星大学非常勤講師

大学は、厳しい時代に入っています。厳しいといふ意味は、受験者の総数が減っていることだけではありません。学生さんにとってもまた、大学に入って何を身につけるのかが真剣に問われるという意味で厳しい時代であります。

最近の傾向として、単位取得を甘くせざるを得ないという話をよく聞きます。これは、おそらく学ぶ側の学生さんにとっても不幸な傾向です。安易な単位取得で、それが標準レベルと思ってしまうからです。

目標を高く持ち努力を

前情報システム学科助教授 平田 透

熱きない理由の根本的なところは、やはり個人の意欲の有無です。高い目標とそこへ達するための努力は、どんな時代でも必要です。目標を高く持つことは、たとえそこに到達できなくても、現状で妥協するよりはるかに高いレベルに自分を引き上げてくれるからです。そういう実感を持って勉学をする人が、あまりにも減つてきているのではないか、と危惧を覚えます。NUiSの学生さんは、情報システム能力を使いこなす人材に育つことを望みます。環境は整っているのです。

(金沢大学へ赴任)

Howard Gordon Brown

CEPインストラクター
CEP

専門分野

1.Content Teaching
2.Extensive Reading
3.SelfAccess and Learner
Autonomy

アーメッド・シムシェック私立学校(中等部・高等部)(1991年9月～1993年8月)
カナダ ハリファックス市 教育委員会勤務(1993年9月～1994年5月)
株式会社ジオスラング・ジャカドミー(1994年5月～2001年7月)
ジュイムス英会話学院(2001年8月～2006年3月)

経歴

1966年～1972年 三共株式会社
1972年～1987年 住友ビニスコンサルティング株式会社(現 日本総合研究所)マーケティング事業部長
1987年～2006年 エムアーバイ(Marketing Innovation Consulting)代表
2005年～2006年 日本福音大学情報社会科学部 非常勤講師

大学は、厳しい時代に入っています。厳しいといふ意味は、受験者の総数が減っていることだけではありません。学生さんにとってもまた、大学に入って何を身につけるのかが真剣に問われるという意味で厳しい時代であります。

最近の傾向として、単位取得を甘くせざるを得ないという話をよく聞きます。これは、おそらく学ぶ側の学生さんにとっても不幸な傾向です。安易な単位取得で、それが標準レベルと思ってしまうからです。

それを生かした成果を身につけて卒業する人の少なさです。国立大学よりもはるかに良い情報環境にありながら、コンピュータを徹底的に習

本学の情報センターには、情報関係の設備や体制が整つており、多くの学生に利用されているが、図書館の方も今後、体制と図書の充実化を図っていきたい。より多くの学生や市民が利用されるよう期待している。

本学の情報センターには、情報関係の設備や体制が整つており、多くの学生に利用されているが、図書館の方も今後、体制と図書の充実化を図っていきたい。より多くの学生や市民が利用されるよう期待している。

高校生はじめどなたでもご参加できます!

OPEN・CAMPUS 2006

オープンキャンパス

1回目 7/23(日) 2回目 10/1(日)
10:00~15:30

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市みずき野3-1-1 (JR新越後赤塚駅下車 徒歩7分)

学科及びカリキュラム説明



入試情報説明

入試問題の傾向と対策

模擬講義

コンピュータ実習

語学体験

個別入試相談

就職相談

海外留学相談

学生との懇談

学内見学



*変更となる場合もありますので、事前にご確認ください。

参加お申し込み

高校の進路指導の先生、
もしくは右記にお申込みください。

新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1
TEL.025-239-3111 FAX.025-239-3690
E-mail soudan@nuiis.ac.jp

平成19年度 入学者選抜試験概要(要約一覧)

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日 入学手続き期間		
高校長推薦入試	高校長推薦 指定校制	情報文化学科 10 情報システム学科 20	30	18年11月1日(水)～ 18年11月7日(火)	18年11月12日(日)	本学が指定校と定めた高校長あてに 推薦依頼を行います。 面接・小論文 学力推薦要件:全体の評定平均値3.8 以上又はいずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること。 面接・小論文 対象種目については、募集要項で確認してください。		
	高校長推薦 公募制	情報文化学科 30 情報システム学科 35	65					
	高校長推薦 スポーツ	情報文化学科 情報システム学科	若干名					
	社会人入試	情報文化学科	若干名	19年1月9日(火)～ 19年1月22日(月)	19年2月2日(金)	面接・小論文		
		情報システム学科						
一般入試	前期	情報文化学科 35	95	19年1月20日(土)、21日(日) の入試センター試験を受験 していること	新潟上越	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択		
		情報システム学科 60						
	入試センター試験利用	情報文化学科 15	35			学部試験を課す、19年度のセンター試験の 成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点。 (3科目以上受験した場合は高得点の 2教科2科目を合否判定に使用)		
		情報システム学科 20						
	後期	情報文化学科 10	25	19年2月16日(金)～ 19年3月2日(金)	19年3月9日(金)	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学Ⅰ・数学Ⅱ (数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語:英語Ⅰ・英語Ⅱ 上記3教科の中から2教科を試験場で選択		
		情報システム学科 15						

本学独自の 奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(全学年対象) 授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2~4年生対象) 10万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象) 15万円~20万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象) I種5万円、II種2万円

- 学費臨時給付奨学金(全学年対象) 授業料・
施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3~4年生対象)
借入利息相当額

○入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuiis.ac.jp

卒業式

学長告辭



新潟国際情報大学長
武藤輝一

“信なくば立たず”

時に思考の転換を

卒業生の皆さんご卒業おめでとう。

この日を迎えた卒業生の皆さんに、またご父母の皆様に新潟国際情報大学の役員、教職員一同を代表して、心からお祝い申し上げます。また本日ご出席のご父母の皆様には晴れの卒業式でご子弟を目の前にされ、お喜びはいかばかりかとご推察申し上げております。

この度の本学卒業生は情報文化学科120名、情報システム学科167名合わせて287名であります。このように満足として、希望と期待に溢れ、前途有為の皆さんを送り出すことができますのは、新潟国際情報大学にとりまして大きな喜び、かつ大きな誇りであります。

4年前の入学式での皆さんの様子を、あらためて新潟国際情報大学広報第15号で拝見しました。覚悟を新たに引き締まつた顔、自信ありそうな顔、やや不安そうな顔などいろいろでしたが、本学での4年の学習を完了した今、感慨はいかがでしようか。4年の月日はあつと思う間に過ぎたことでしょう。本学での学生生活は有意義でしたか、これは自分の仕事の漸進的革新にもつな

がります。したがって、卒業後も継続して学習するという、いわゆる“生涯学習”を重く考えずに、人生の伴侶として考え方実行してください。

ご存知の本学中央キャンパスでのオープニングセレモニーも生涯学習の一つであります。例えば、企業の技術系分野で活躍中の社員が、週日の夜間や土曜、日曜日を利用して、大学院ビジネススクールで学んでいる例などはよく見られることです。あるとき、後輩の後塵を拂っていることに気がつき、慌ててのではなく、常に自らの知識や技能の増進、開発を心に留め、余裕のある明るい人生を送るようになります。

例年には昨年12月から本年2月にかけて豪雪と寒さに見舞われました。そして今、雪は消え、暖かい春が訪れます。うれしい季節になりました。“春

”という気持もするのでしょうか、とうとうお別れの時になりました。桜の花咲く4月には、皆さんは一人の社会人として満足とした面持ちで新しい勤めに専念していくことでしょう。これから的人生へ

第9回卒業生の皆さんを加えて、本学創立以来の卒業生は2657名に達します。大変うれしいことです。同じ大学の同級生、先輩、後輩、教職員の人たちは不思議と容易に喜怒哀樂を共にすることができます。自分の悩みを打ち明け、役立つ示唆をうけることができます。同窓会はこのような機会のきっかけともなります。本学の同窓会

は毎年、本学の中央キャンパスと東京都内で開催されます。勤務多忙のため必ずしも容易ではないでしょうが、ぜひ出席してください。皆さんの社会生活の経験の中から、母校に対する意見や後輩に伝えたいことなどを伝えたいと思います。

新潟県では昨年12月から本年2月にかけて豪雪と寒さに見舞われました。そして今、雪は消え、暖かい春が訪れます。うれしい季節になりました。“春

”という気持もするのでしうが、とうとうお別れの時になりました。桜の花咲く4月には、皆さんは一人の社会人として満足とした面持ちで新しい勤めに専念していくことでしょう。これから的人生へ

希望と期待を胸に大いに活躍してください。皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げると共に、前途に幸多かれと祈り、送る言葉と致します。

来賓祝辞



セコム上信越株式会社
代表取締役社長 野沢慎吾

私の会社 セコム上信越株式会社は、今年

も今日の卒業式を終えた学生を迎えますが、すでに同じ学窓を巣立った先輩社員は、県や国との壁を越え、グローバルに広がる情報社会の中で、日夜、目標に向かってがんばっています。私は皆さんのこれらの努力とエネルギーの發揮に大きな期待と夢をかけています。

私は今日、学窓を巣立つ皆さんに、はなむけとして、二つの言葉を贈ります。

その第一は、常に現状を打破する心を持ち続けることです。私たちを取り巻く実社会には数百年も続いた習慣や常識が残っています。

現状を打破する心を持つ

新潟国際情報大学の卒業式にあたり、卒業される皆さんに心からお祝い申し上げます。国際化、情報化社会に対応する学問を身につけた皆さんの門出に、社会人の先輩の一人として大きな期待をかけ、活躍を祈るばかりであります。

は毎年、本学の中央キャンパスと東京都内で開催されます。勤務多忙のため必ずしも容易ではないでしょうが、ぜひ出席してください。皆さんの社会生活の経験の中から、母校に対する意見や後輩に伝えたいことなどを伝えたいと思います。

新潟県では昨年12月から本年2月にかけて豪雪と寒さに見舞われました。そして今、雪は消え、暖かい春が訪れます。うれしい季節になりました。“春

”という気持もするのでしうが、とうとうお別れの時になりました。桜の花咲く4月には、皆さんは一人の社会人として満足とした面持ちで新しい勤めに専念していくことでしょう。これから的人生へ

希望と期待を胸に大いに活躍してください。皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げると共に、前途に幸多かれと祈り、送る言葉と致します。

第2は、当たり前のことを当たり前にやる姿勢を身につけてほしいということであります。私はこのことを今年の年頭の辞でも社員に伝えましたが、簡単なようで非常に難しいことです。地道な毎日の行動から新たな発見も、現状を打破しようとするエネルギーも生まれてくるのです。それぞの立場で当たり前のことを当たり前にやり、自分を燃焼させて出す汗の尊さを知ることは、これから的人生にきっと大きな意味をもたらすことでしょう。

この2点を、今日、卒業される皆さんへのはなむけの言葉とし、これから御多幸を心からお祈りいたします。

卒業生答辭



情報文化学科(総代)
新津厚子

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。またご来賓の皆様、並びに関係者の皆様におかれましては、県内で多くの式典が重なる3月にこうして足を運んでいただきましたこと、卒業生を代表して心よりお礼申し上げます。

先に、答辭を述べる前提として、「卒業」ということばの意味について少し触れさせていただきたいと思います。一般に、日本で「卒業」といいますと、気安く過去を美化してすべてを水に流す、また、目の前に広がる未来

の光に浮き足立つてそれまであつた臭い過去に蓋をするという傾向があるように思います。しかし、アメリカで「卒業」とは終わりと同じで、始まりの意味を含む「commencement (コメンスメント)」ということばを用います。したがいまして、この答辭において私が触れる「卒業」とは、現在をまっさらな状態やゼロに戻すという行為ではなく、それまでの過去を全身にひき受け、未来に向けて新たな現在をつくりだす覚悟や行為として位置づけたいと思います。どうぞ理解ください。

次に、「卒業」という言葉の意味から派生して、9期卒業生として、原点を忘れぬため、本学開学の歴史に立ち戻ってみます。

本大学は、1994年、日本で初の「情報文化」学部を備え開学しました。郷土を愛する創設者、小澤辰男前理事長、現学院長は、「新潟で平和と民主主義を考える」という熱い理念を胸に、新潟県、新潟市などを産・学・官・民の協力を得て運動を進めました。

当時、大学の基本構想は、内山秀夫初代学長、浦昭二初代学部長、第二代石川真澄学部長の3先生らが、まるで三銃士の心意氣で、日夜議論を交わしながら熟考したといいます。

ご存知のように「国際・情報」は、本学の広報誌として保護者、関係者および卒業生に配布されているものです。その記念すべき第1号から目を通すと、今も古びず生きた眼を持つ3先生の姿と、新たに生まれた「情報文化部」に対するそれとの並々ならぬ思いをることができます。3先生のことばを読むほどに、私は、彼らが明らかに「知」に魅せられた一流の情報文化人であったことを痛感し、畏敬の念を覚えざるをえません。

一つ参考に挙げるならば、浦昭二先生は、新潟国際情報大学10年史のなかで、本学こそを好奇心を大切にした「生の源泉」の学園にしたいと語つておられました。

さて現在、本学がかつて浦先生が描いた「生の源泉」であるかと問われれば、4年間を終えようとする今も、私にはその意思に応じる自信はありません。

学生はもちろん、教員、職員もまた時とともに流れ入れ替わり、年々その色を変えていくものです。現在は29号に至る「国際・情報」を読めば、いまだ僅かな歴史のなかでも、確実に我が校、我が学部が変化していることを実感できます。

卒業を迎えたこの場で、今後も移り変わる新潟国際情報大学の学風に対し、正直な気持ちを打ち明ければ、そこには大きな期待とともに不安と寂しさを感じざるをえません。

個人差はありますが、少なくとも私にとって大学4年間という時間、空間は、あまりに衝撃的で、そのほとんどが入学時の想像を大きく超えるものでした。だからこそ今、この場、この時から立ち去るということは「寂しい」気持ちを通り超し、実のところうまく実感できていないほどです。

しかし同時に、私は今後、社会で自らを新潟国際情報大学9期目卒業生として語ることに大きな誇りを持つています。新潟市の片田舎、みずき野において日本初の情報文化学部

が、最後に4年間計り知れぬほどのご指導、ご鞭撻を頂いた教職員の皆様、支え続けてくださった家族、親戚、そして大学で出会えた隆々とした学風が生まれるよう、多方面から支えていきたいと思います。

終わりに嫌い、だらだらと長くなりましたが、春を待つ雪国のようにひたむきに、いつか新潟で真の平和と民主主義が実ることを祈つて、私の答辭とさせていただきます。

（紙面の都合により一部省略しました）

祝電

●文部科学大臣	泉田裕彦	小坂憲次
●新潟県知事	篠田昭	
●新潟市長	上原淳	
●新潟商工会議所会頭	大沼明	
●日本私立大学協会会長	渡邊隆	
●上越教育大学学長	小島陽	
●長岡技術科学大学学長	新井明	
●敬和学園大学学長		
●長岡大学学長	原陽一郎	
●長岡造形大学学長	鎌田豊成	
●新潟工業大学学長	吉田邦夫	
●新潟産業大学学長	成具昭一	
●新潟青陵大学学長		
●新潟綜合警備保障株		
●新潟中央青果株	廣田幹人	
●リオン・ドールコーポレーション		
●代表取締役社長	小池信介	

平成17年度 卒業生おめでとう 晴れやかに287人の門出を祝う

平成17年度第9回卒業式が3月23日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）のコンサートホールで行われ、287人（情報文化学科120人、情報システム学科167人）の卒業生が決意新たに社会に巣立って行きました。

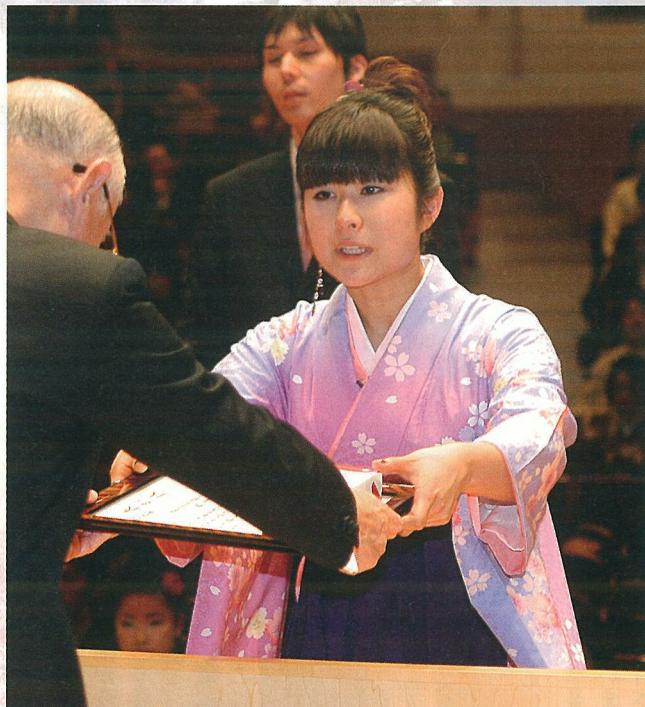
学位記を授与したあと武藤輝一学長は「新しいことへの挑戦に Fayt を湧かせ、強い覚悟と信念を持って自らの道をつくり上げてください」と告辞。また、小澤辰男学院長が開学の由来をあらためて紹介し、環日本海・国際化時代に通じる語学と情報教育の継続を希望しながら「世界に通じる社会人として頑張ってください」と激励しました。

これに対し、卒業生を代表して情報文化学科の新津厚子さんが「私たちが未来に向けて新たな現実を創り出す覚悟でいます。国際情報という開

学の理念と応用学問を学ぶことができた学園と、計り知れぬほどの支援をしていただいた多くの方々に感謝しています」と万感を込めて答辭を述べました。

最後に吹奏楽部の演奏で校歌「空がある風がある光がある」を卒業生と一緒に教職員、来賓や父兄の方々も齊唱し、全員が大きな拍手で前途を激励して記念式典を終了しました。

同日夕には恒例の卒業記念祝賀会がホテル新潟で開かれました。晴れやかなスツヤドレス姿の卒業生たちは教職員を取り囲み別れを惜しみ、同僚と夢を語り合ったり激励し合ったりして、門出を祝う華やかなパーティーがいつまでも続きました。



本学の卒業生はこれで合計2,657人となりました

平成17年度（第9回）299人（情報文化121人・情報システム178人）
平成16年度（第8回）294人（情報文化115人・情報システム179人）
平成15年度（第7回）314人（情報文化118人・情報システム196人）
平成14年度（第6回）277人（情報文化111人・情報システム166人）
平成13年度（第5回）291人（情報文化118人・情報システム173人）
平成12年度（第4回）294人（情報文化114人・情報システム180人）
平成11年度（第3回）303人（情報文化126人・情報システム177人）
平成10年度（第2回）290人（情報文化124人・情報システム166人）
平成9年度（第1回）295人（情報文化116人・情報システム179人）

※9月卒業生含む

●陸上競技部
情報システム学科
情報文化学科

4×400Mリレーに出場した。
平成14年度第86回・平成15年度第87回日本陸上競技選手権リレー競技大会

平成16年度に第52回中部学生バドミントン選手権大会団体で準優勝し、第55回秋父宮秋父宮妃杯争奪全日本学生バドミントン選手権大会（団体）に出席した。翌年の平成17年度にも第53回中部学生バドミントン選手権大会で団体戦ベスト4に勝ち進んだメンバーとして活躍した。また、木村・川上は個人戦でも平成16年第55回・平成17年56回秋父宮・秋父宮妃杯争奪全日本学生バドミントン選手権大会にダブルスで連続出場をはたした。

●バドミントン部
情報システム学科

木村 一貴
川上 正志
佐藤 信介

課外活動賞

●バドミントン部
情報システム学科

木村 一貴
川上 正志
佐藤 信介

情報文化学科
平成16年度に英検準1級 TOEIC 775点取得。平成17年度には学生スピーチコンテスト最優秀賞を受賞するなど、本学の英語教育の成果を示した。

情報文化学科
平成17年中国語検定試験準2級に合格し、課外活動でも中国文化研究会に所属し、本学学生と新潟在住中国人留学生との交流活動の組織や異文化理解の活動に尽力した。

情報システム学科
斎藤 新津
厚子 正信
学術賞

学長賞
(学業成績優秀者)
情報文化学科(総代)
新津 厚子
正信

平成17年度
卒業生特別表彰